

# 平成22年春 ダイヤ改正について

平成21年12月18日

北海道旅客鉄道株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社  
東海旅客鉄道株式会社  
西日本旅客鉄道株式会社  
四国旅客鉄道株式会社  
九州旅客鉄道株式会社  
日本貨物鉄道株式会社

JRグループでは、平成22年3月13日(土)にダイヤ改正を実施します。

主要都市間を結ぶ旅客列車(特急・急行列車など)および貨物列車を中心とした改正の  
主な内容は、以下のとおりです。

## 【主なダイヤ改正施策】

- 東京～博多間の「のぞみ」を毎時3本運転とする時間帯を拡大します。
- 東海道・山陽区間を直通する全ての定期「のぞみ」をN700系とします。
- 成田空港アクセスの特急「成田エクスプレス」を増発します。
- 北陸線の特急「サンダーバード」に新製車両を追加投入します。
- 3つの新駅を開業します。
- 京浜港と東北内陸部を直結する海上コンテナ列車を新設します。

次ページ以降は、 内の各社からの発表のものです。

【旅客列車関係】

東海道・山陽新幹線

JR 東海・JR 西日本

東京～博多間の「のぞみ」を毎時3本運転とする時間帯を拡大します

現在、毎時2本運転している東京～博多間の「のぞみ」に加え、朝夕の時間帯を中心に東京～広島間の「のぞみ」の一部について、運転区間を博多まで拡大します。これにより東京～博多間を運転する「のぞみ」が8本増えるとともに、毎時3本運転とする時間帯が増えご利用しやすくなります。

新たに東京～博多間の運転となる「のぞみ」

【東京・名古屋から博多方面】

列車名	発駅時刻	着駅時刻	停車駅
のぞみ 7号	東京 6:50	博多 12:06	品川、新横浜、名古屋、京都、新大阪 新神戸、姫路、岡山、広島、小倉
のぞみ 13号	東京 7:50	博多 13:06	
のぞみ 19号	東京 8:50	博多 14:06	
のぞみ 59号	東京 17:50	博多 23:02	

【博多から名古屋・東京方面】

列車名	発駅時刻	着駅時刻	停車駅
のぞみ 6号	博多 6:38	東京 11:53	小倉、広島、岡山、姫路、新神戸 新大阪、京都、名古屋、新横浜、品川
のぞみ 42号	博多 14:40	東京 19:53	
のぞみ 54号	博多 16:40	東京 21:53	
のぞみ 60号	博多 17:38	東京 22:53	

【東京での広島・博多方面の「のぞみ」発車時刻（定期列車）】

現行				改正後			
毎時	10分	30分	50分	⇒	10分	30分	50分
	博多行	博多行	広島行		博多行	博多行	広島行 または 博多行
	N700系		N700系		N700系	N700系	N700系

一部時間帯を除く

【博多での名古屋・東京方面の「のぞみ」発車時刻（定期列車）】

現行				改正後			
毎時	00分	30分		⇒	00分	30分	38分
	東京行	東京行			東京行	東京行	または 40分 東京行
	N700系				N700系	N700系	N700系

一部時間帯を除く

**東海道・山陽区間を直通する全ての定期「のぞみ」をN700系で運転します**

東海道・山陽区間を直通する全ての定期「のぞみ」101本をN700系で運転します。また、西明石6時始発の「のぞみ」100号の東京到着が8時53分と現行より7分早くなり、西明石・新神戸から東京に9時前に到着する列車が誕生します。

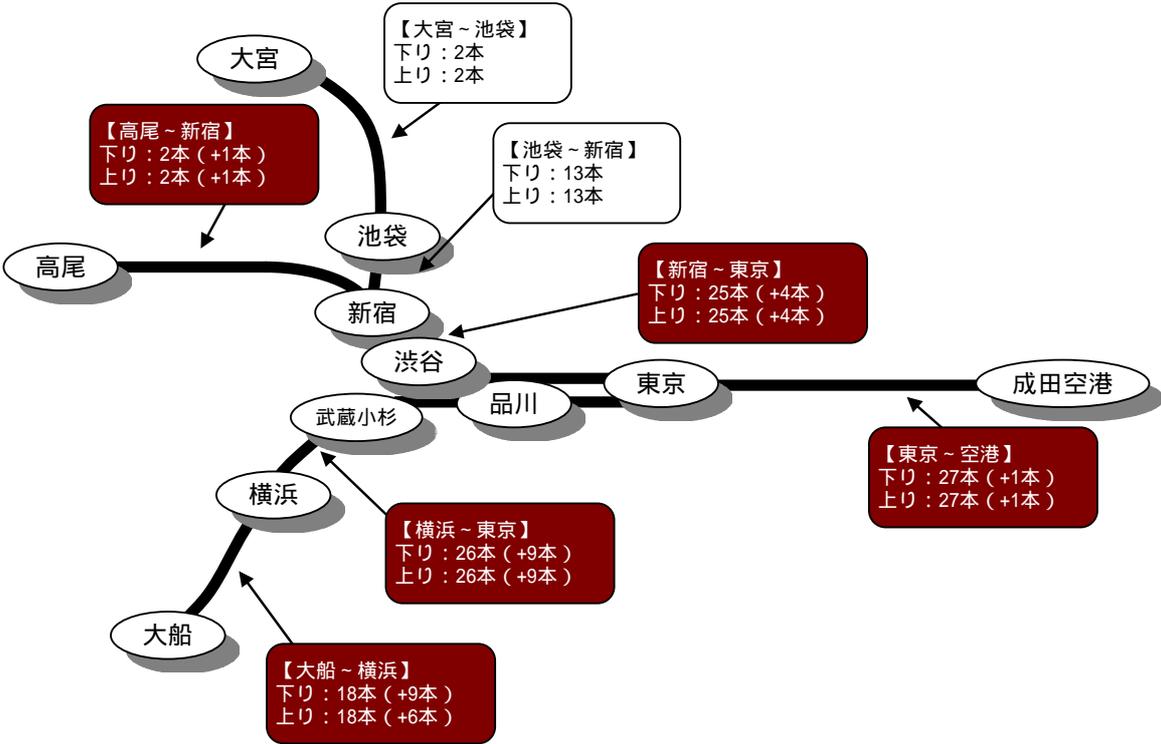
【「のぞみ」100号の運転時刻】

のぞみ100号	西明石発	新神戸発	新大阪発	京 都発	名古屋発	東 京着
	6 : 0 0	6 : 0 9	6 : 2 3	6 : 3 8	7 : 1 5	8 : 5 3

**成田線・総武線・横須賀線・山手貨物線・中央線 JR 東日本**

**特急「成田エクスプレス」を増発します**

2009年10月より営業運転を開始した新型車両E259系を更に投入し、快適な移動空間を提供すると共に、各方面への列車を増発します。これにより、成田空港へのアクセスを更に便利にします。



**特急「サンダーバード」に新製車両を追加投入します**

大阪～富山（魚津）間の特急「サンダーバード」の15往復中10往復を新製車両で運転します。新製車両の投入により、特急「雷鳥」に使用している車両（485系）をサンダーバード型車両（681・683系）に置き換えるとともに、列車名についても特急「サンダーバード」とします。

【特急「サンダーバード」「雷鳥」の現改比較】

現行	列車名	「サンダーバード」			「雷鳥」
	運転区間	大阪～富山・(魚津・和倉温泉)			大阪～金沢
	往復数	15往復			10往復
	使用車両	681・683系			485系
改正	列車名	「サンダーバード」			「雷鳥」
	運転区間	大阪～富山・(魚津)	大阪～富山	大阪～金沢・(和倉温泉)	大阪～金沢
	往復数	10往復	5往復	7往復	1往復
	使用車両	683系(新製車両)	681・683系		485系

**嵯峨野線の複線化工事が完成します**

嵯峨野線（京都～園部）の複線化工事の完成にあわせ、朝夕通勤時間帯の快速増発や行き違い待ち解消による所要時間の短縮を実施します。

【京都駅発着1時間あたりの運転本数】

	現行（H21.3改正時点）	改正	増減
朝RT(上り)	9本（快速3本・普通6本）	10本（快速5本・普通5本）	+1本
夕RT(下り)	5本（快速1本・普通4本）	6本（快速2本・普通4本）	+1本

【所要時間（京都～園部：最速列車）】

	現行（H21.3改正時点）	改正	増減
朝RT(上り)	42分(快速)	38分(快速)	4分
夕RT(下り)	42分(快速)	37分(快速)	5分

**ご利用の減少と車両老朽化に伴い夜行列車の運転を取りやめます**

ご利用の減少と車両老朽化に伴い、東京と北陸方面を結ぶ寝台特急「北陸」（上野～金沢）、急行「能登」（上野～金沢）の運転を取り止めます。また、同区間においては、週末や夏休みなどお客さまのご利用の多い時期を中心に臨時列車を運転します。

3つの新駅を開業します

会社名	新駅の名称	線名	区間(所在地)
JR 東日本	むさしこすぎ 武蔵小杉	横須賀線	西大井～新川崎間(神奈川県川崎市)
JR 九州	しんくうちゅうおう 新宮中央	鹿児島 本線	ししぶ～福工大前間(福岡県糟屋郡新宮町)
	かみむらがくえんまえ 神村学園前		串木野～市来間(鹿児島県いちき串木野市)

当駅は南武線武蔵小杉駅(既設)と同一の駅となります。

【貨物列車関係】

JR 貨物

京浜港と東北内陸部を直結する海上コンテナ列車を新設します

国土交通省港湾局モデル事業として、盛岡(夕)構内に海上コンテナ専用のデポ機能を新たに設け、東京(夕) 盛岡(夕)間に海上コンテナ列車を新設します。

	列車番号	発駅 (発時刻)	着駅 (着時刻)	停車駅	記事
下り	8075	東京(夕) 20:20	盛岡(夕) 翌日 7:15	郡山(夕)	20両編成 (郡山(夕)～盛岡(夕)間 15両編成)
上り	8074	盛岡(夕) 20:25	東京(夕) 翌日 6:47	郡山(夕)	20両編成 (盛岡(夕)～郡山(夕)間 15両編成)

JR 貨物

横浜地区 京阪地区間の輸送体系を見直し、改善を図ります

横浜地区(横浜羽沢・相模貨物・梶ヶ谷(夕))と京阪地区(大阪(夕)・梅田・梅小路)相互間の輸送力配置を変更し、これと併せて、リードタイムの短縮を図り、さらにご利用しやすい輸送サービスを提供します。

	列車番号	運転区間	記事
下り	4054 ～5065	宮城野～梅田	横浜羽沢 梅田 新設 2日目午後配達 2日目午前配達
	1065	新座(夕)～梅田	梶ヶ谷(夕) 梅田 新設
上り	1080	百済～隅田川	梅田又は梅小路 相模貨物 新設 2日目午後配達 2日目午前配達
	5062	大阪(夕)～東京(夕)	大阪(夕) 横浜羽沢 増強
	5084 ～4087	大阪(夕)～宮城野	大阪(夕) 梶ヶ谷(夕) 新設